



伊豆の国市から、医療・福祉・介護に携わる皆様と共有したい情報を発信します。

11月のイベント

COVID-19感染症拡大防止のため、急きよ、中止や延期となる可能性もあります。
各種会議等の開催については、各主催者にお問い合わせ下さい。



今月の1枚

地区健康講座が始まりました!

10月22日(金)より、市内の公民館や高齢者温泉施設等にて地区健康講座(全29回)が始まりました。今年度は「健康は口から。元気は食から。」をテーマに、口腔機能や食事に関する日常生活のチェックを通して、フレイル予防への啓発を行っています。

また、講座の最後には【医療情報救急キットを書き換えよう!】と「私の覚え書き」と合わせて基本情報の更新も促しています。

健康講座には地域包括のメンバーや伊豆保健医療センターの清水医師・今回レシピ提供をいただいた谷津倉管理栄養士も顔を出してくださり、地域の皆様も身近に感じる存在にとっても喜ばれた表情を見せています。

インフォメーション

●新型コロナウイルスワクチン接種に関する情報

【接種会場について】

●集団接種会場

* 葦山福祉・保健センター: 1回目の方のみ、11月6日(土)・7日(日)の予約開始。(※2回目の予約は不要)

●個別接種

* 順天堂大学医学部附属静岡病院

: 11月19日(金)まで(土日祝日除く)の予約受付中。2回目接種専用枠として、11月22日(月)~30日(火)まで(土日祝日除く)の予約受付中。

※【静岡県大規模接種会場(順天堂大学医学部附属静岡病院)】
=終了

その他、詳細につきましてはホームページをご確認ください。

<https://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/shingatakoronakanrenjoho.html>

【問い合わせ先】

伊豆の国市コールセンター

0570-055-671(平日8:30~17:15)



| 日 | 時間 | イベント名 | 場所 | 主催 |
|----|----------------|---|-----------------|----------------------------|
| 1~ | 体操教室 開催時間 | 地区健康講座 | 体操教室 開催場所 | 相談センター 0558-76-8010 |
| 月~ | 内容 | 健康は口から。元気は食から。 | | 参加 要予約 |
| 9~ | 9:00 15:00 | シルバー人材センター 子育て支援技能講習会 | くぬぎ会館 | シルバー人材センター 055-948-9526 |
| 火~ | 内容 | 全6日24時間の厚生労働省指定のファミリー・サポート・センター事業における講習カリキュラム | | 参加 不可 |
| 11 | 15:30 17:00 | 相談支援事業所部会 | 大仁庁舎 第3会議室 | 障がい福祉課 0558-76-8007 |
| 木 | 内容 | インシデントプロセス法を用いた事例検討 | | 参加 不可 |
| 16 | 15:30 16:30 | 認知症初期集中支援チーム員会議 | 大仁庁舎 第1会議室 | 相談センター 0558-76-8010 |
| 火 | 内容 | 対象者の支援方法の検討 相談ケースへの助言(認知症サポート医等からの助言が欲しいケースがありましたらご相談ください) | | 参加 歓迎 |
| 17 | 13:30 15:00 | SC連絡会 | いちごの里 | 相談センター 0558-76-8010 |
| 水 | 内容 | SCと地域包括・民生委員の仲を深めよう! | | 参加 資料入手可 |
| 18 | 9:00 10:30 | 認知症サポーター養成講座 | 白寿医療 学院 | 相談センター 0558-76-8010 |
| 木 | 内容 | 認知症とは/認知症の症状/認知症の方への接し方/認知症予防/認知症サポーターとは 等 | | 参加 資料入手可 |
| 18 | 17:30 19:00 | 自主勉強会 | 大仁庁舎 第3会議室 | 相談センター 0558-76-8010 |
| 木 | 内容 | 事例検討:関係関連図から事例を紐解こう! | | 参加 歓迎 |
| 24 | 13:30 15:00 | JTC会議 | 大仁庁舎 第1会議室 | 相談センター 0558-76-8010 |
| 水 | 内容 | 自立支援・介護予防の観点から、個別事例への具体的な助言、提案を検討します。事例提供:大仁圏域(大仁包括) | | 参加 資料入手可 |
| 25 | 13:30 15:00 | 地域づくり会議(葦山包括) | 葦山福祉・ 保健センター | 相談センター 0558-76-8010 |
| 木 | 内容 | 精神障害者への支援について、多職種事例検討会を行います。(一般参加はできません) | | 参加 資料入手可 |
| 25 | 16:00 17:00 | 相談支援事業所部会 | 大仁庁舎 第5会議室 | 障がい福祉課 0558-76-8007 |
| 木 | 内容 | 地域課題の検討④ | | 参加 不可 |

| | | | |
|--|--------------------|---|-------------------|
| 会議名 | 在宅医療・介護連携推進会議【部会3】 | | |
| 日時 | 2021/10/15 | 場所 | 葦山福祉・保健センター 2階 和室 |
| 参加者 | 12名 | 伊豆保健医療センター 清水医師 在宅医療・介護連携推進委員【部会3】メンバー（歯科衛生士、管理栄養士、OT、民生委員代表、介護の会代表、認知症キャラバンメイト代表、特養連絡会代表、3包括） | |
| 内容 | 住民普及啓発のための媒体作成 | | |
| <p>住民の方々に「在宅医療」についてもっと知ってもらうため、また、「自分の生き方」についてもっと考えてもらうようにするために、どのような普及啓発をしたらいいか、検討をしました。広報1・2月号に特集を組むことから、その内容についても話し合いました。</p> <p>さらに、清水医師より、佐久総合病院/うすだ健康館にて製作され、住民の方々に活用されている「こころづもりゲーム」の紹介があり、実際にゲームを行ってみました。</p> <p>ゲームを実際に行ってみて、「ゲームではあるけれど、真剣にどの項目が自分にとって大事なかを真剣に考えることができた。」「本当はこれを家族で行えたらいい。」などの声も上がりました。さらに、「小中学生にもできる内容だとい。」「これをやることで“自分らしさ”が自然に見えてくるような気がする。」などの感想も聞かれました。【田方版こころづもりゲーム】をつくろう！と話し合いました。</p> | | | |
| | | 担当 古野 | |



| | | | |
|--|--------------|---|------------------------|
| 実施名 | 医療と福祉の多職種勉強会 | | |
| 日時 | 2021/10/18 | 場所 | Zoomミーティング / 大仁庁舎2階会議室 |
| 参加者 | 約110名 | 医師、歯科医師、薬剤師、リハ職、看護師、医療機関の相談員、訪問看護師、救急隊、ケアマネジャー、デイサービススタッフ、グループホームスタッフ、看護大学生、看護学校教諭、など | |
| 内容 | 私たちの目指すまちづくり | | |
| <p>清水医師より「私たちの目指すまちづくり」についてのミニ講話の後、グループに分かれて①私たちの目指すまちづくり、②まちづくりのために実際に取り組んでいること、③まちづくりのために今後やってみたいこと、を話しあい、全体ディスカッションにて意見共有を図りました。「日曜日のデイ休業日に地域の人たちに向けた一般開放をして、地域のよりどころになるといい。」「もっと近所同士が気かけられるまちになるといい。」等たくさんワクワクするような意見が出ました。</p> <p>伊豆保健医療センターの小野院長先生からも「これだけ多くの方々と想いを共有することができて励みになる。」と力強いお言葉もいただきました。次回12月は長野県佐久市との合同勉強会です！</p> | | | |
| | | 担当 古野 | |



| | | | |
|--|-------------------------|--|-------------|
| 会議名 | 第一層協議体 | | |
| 日時 | 2021/10/26 | 場所 | 葦山福祉・保健センター |
| 参加者 | 14名 | 住民主体サービス実施者、社会福祉法人理事長、民生委員、診療所医師、包括職員、第1層SC、第2層SC、行政 | |
| 内容 | 移動支援事業について、第1・2層協議体活動報告 | | |
| <p>今回は、今年度計画の主軸である移動支援についてがメインでした。</p> <p>そして、車両の貸し出しについて協力の声を挙げて下さった【社会福祉法人寿光会 しょうれんじこども園 理事長・園長 渡邊様】に参加していただき、意見を交わしました。</p> <p>「始めるにあたって、インパクトがあった方がいい。」「月2回といわず、生活支援であれば週1回は欲しいのではないだろうか」「図書館に行きたいという声もある。買い物・病院以外にも目的地があればいい」「古本の回収も兼ね、誰も乗らなくても本を乗せることを手伝ってもらって役割を与えるような形はどうか」など色々な意見がでました。長年の課題、そしてこれからも言われるであろう移動支援について、公共交通とも話しながら、出来る事から初めて行きたいと思えます。</p> | | | |
| | | 担当 野口 | |

11月は児童虐待防止推進月間です！

【オレンジリボン運動とは】
 オレンジリボンには「児童虐待防止」というメッセージが込められています。一人でも多くの方々に「児童虐待防止」に関心を持ってもらい、子供たちの笑顔を守るために一人ひとりに何が出来ののかを呼びかけていく活動です。親子や家庭を地域全体で見守り、育む地域づくりをしていきたいですね。

【児童虐待防止月間における取組】
 11月は、「オレンジリボンキャンペーン月間（児童虐待防止推進月間）」です。児童虐待防止への意識の高揚・定着を図ると共に、自主的な児童虐待防止活動を促進するため、伊豆の国市では、子どもを虐待から守ろう！というメッセージを込め、葦山反射炉のオレンジライトアップを行います。

期間：11/1～11/7、11/15～11/30

【児童相談所全国共通ダイヤル】
 189「だれか」じゃなくて「あなた」から（令和3年度標語）
 虐待かも?!と思った時は189(いちばやく)をダイヤルしてください。

注目! あんしん見守り協力店へ協力依頼しています

3地域包括支援センター発信!

今年4月に高齢化率33.5%、高齢者独居率も19.0%と年々増加傾向にあり、市内全世帯のうち5.2世帯に1世帯は「高齢者のひとり暮らし」という現状の伊豆の国市。コロナ禍も長期化し、高齢者が孤立しやすく、支援が必要でも周囲に気付かれずに生活し、病気が重症化する等の課題が挙がっています。

そこで! 住み慣れた地域で、安心して自分らしく生活ができる地域づくりをめざし、高齢者の小さな異変に気付いた時にできるだけ早く支援の手を差し伸べていけるよう、市内3地域包括支援センターが市商工会へ「あんしん見守り協力店」への協力を動き出しました!(葦山地区ではすでに100店舗近くの登録があり!)

見守り協力をいただく店舗や事業所へ各圏域ごとの『見守りステッカー』(A4版)を貼用しています。

地域の多くの“みまりの目”でやさしい・温かい・くらしやすいまちづくりをみんなで目指していきましょう!

